主体的な学びを実現させる授業の創造
～学びの連続性を生む振り返りの工夫～

学びの土台

- ①レディネステストによる課題や実態把握
- ②ステップタイム・ぐんぐんタイムの充実

【教科横断的なカリキュラムマネジメント】

課題を克服するために効果的な教科等を関連させる。

【逆設計の授業】

「ふりかえり」の姿を想定する。

【つかむ】 課題把握・つかむ

- ・前時の振り返りを共有し、新たな問いを作る
- ・生活で出会った場面を算数の問題として捉える
- ・学習の見通しをもつ
- ・興味・関心をもち、既習事項との関連や相違点に気付く

【考える】 自力解決

- ・既習を活用しようとする
- ・言葉と式・図を関連付けながら説明・表現する
- ・複数の考えや説明方法を見つける
- ・考え方のよさを見つける

【深める】 協働的に学ぶ

- ・友達の考えを聞いて、見通しをもつ
- ・友達に分からないことを尋ねる
- ・友達の分からないことを捉えて教える・相談する
- ・自分と友達との考えを比較・分類・関連付けて話し合う
- ・友達の考えや説明を聞いたり、話し合ったりするなかで、よりよい考えや説明の方法にたどり着く

【まとめる・ふりかえる】 まとめ・振り返り

- ・評価問題で確かめ、納得する
- ・学びを捉えなおす(算数用語を活用し、自分の言葉で)
- ・自己の変容に気付く(自己有用感・自己肯定感の向上)
- ・資質・能力の向上に気付く(教科の枠を超えた学びを得る)
- ・新たな課題の発見(知的好奇心の喚起、学習意欲の継続)

多面的な振り返りの視点

主体的な学び 学習意欲の継続

学力調査上の課題の克服